

NMSH Topics 16 VOL.

April 2018

今月の

院長のイチオシ

【女性診療科・産科】

研鑽を積んだスタッフたちが

安心・安全な出産のため

緊密な連携でサポート

NICU・GCU新規開設と セミオープンシステムの導入

当院は東京都の周産期連携病院に位置づけられています。大学病院として、さまざまな合併症をお持ちの方や、不育症・習慣流産などのハイリスクからローリスクの妊婦さんまで多くの方を受け入れています。2018年1月よりNICU3床、GCU6床が新規開設され、新生児のケアも含め、これまで以上に安心・安全なお産をしていただける体制が整いました。また、4月よりセミオープンシステムを導入する予定です。これにより、妊婦さんのリスクに応じて、妊婦健診は通いやすい自宅近くのクリニックで、夜間休日の時間外外来や分娩は当院で、という選択が可能になります。当院は麻酔科や小児科、他科との連携が密で、超緊急帝王切開の際には

手術決定から胎児娩出まで約10分での対応が可能です。また、大学病院でありながら、助産師による外来、母親学級、両親学級、産後の母乳外来などのきめ細かなケアにも力を入れています。産科病棟は24時間母児同室を選択可能で、陣痛室と分娩室が一体となったLDRも完備しています。不妊症や不育症、子宮筋腫、子宮内膜症などで当院を受診された患者さんへ、生殖医療グループ、内視鏡手術グループで手術療法・薬物療法を行い、不妊治療を経て、出産まで一貫してケアをさせていただくのが当院の強みといえるでしょう。また、産科グループの医師と看護スタッフはほぼ全員新生児蘇生法普及事業(NCPR)を受講し、インストラクターによる定期的な院内勉強会も開催し、安全安心なお産を提供できるように日々研鑽を積んでいます。今後ともよろしく願いいたします。



安心・安全なお産をめざし、チーム一丸となって患者を優しくサポート



高い専門性を持った医師が多数在籍。幅広い領域に対応している